

「香芝市まちづくり提案活動支援事業」を本年度初めて活用される市民団体の皆さまと、香芝市のまちづくりについて、意見を交換いたしました。

～「万葉あ〜と実行委員会」の活動内容～

香芝市民に万葉衣装や万葉歌を楽しんでもらい、「万葉ゆかりの地、香芝」に対する誇りと愛着の気持ちを持ってもらうことを目的として、令和4年10月に万葉衣装ファッションショーを開催しました。

★万葉衣装ファッションショーの様子はこちら⇒



～テーマ～ 「万葉ゆかりの地、香芝」について(内容の一部をご紹介します)

[◆:団体からのコメント / ○:市長からのコメント]

◆ 多数のご参加により万葉衣装ファッションショーが成功裏に終わりました。

3部構成として、1部はファッションショー、2部は古代衣装研究家の山口千代子さんによる解説トーク、3部は万葉創作画家の奥山永見古さん解説による万葉集の詠み人に焦点をあてたモデルパフォーマンスとして開催しました。

当日は、県立香芝高校の学生さんにも参加をいただくなど、幅広い世代の皆さんにモデルとして出演をお願いしました。イベントを通じて万葉の世界に関心を深めていただけたと思います。

今後は『万葉絵合わせかるた』をコンテンツに活動を展開していくなど、万葉に関する活動を予定しておりますので、継続して連携をお願いしたいと思います。

- ファッションショー、そしてモデル出演という普段では経験できない入口から、万葉の世界に触れることができ、さらに万葉にゆかりのある本市に愛着を持っていただけることは、とても喜ばしいことです。

この度、活用していただいています「香芝市まちづくり提案活動支援事業」をステップに、今後も継続してご活動いただきたいと思っています。



◆ 香芝市は『万葉ゆかりのまち』。まちづくりに取り入れてほしい。

ご存じのように約4,500首ある万葉集のなかには香芝の地にまつわる歌もあります。

「うつそみの 人なる我<sup>われ</sup>や 明日よりは ふたかみ山を 弟<sup>いろせ</sup>と我が見む」 巻2-165 大伯皇女

香芝市民の私たちがいつも見上げる二上山に葬られたという弟、大津皇子に手向けた<sup>ばんか</sup>挽歌です。この歌を切り口に、今後も、万葉歌の想いや歴史背景などを後世に伝える活動を行ってまいります。

「万葉ゆかりのまち」であることをまちづくりに繋げていただき、市民にはいつまでも万葉に親しみを持ってほしいと考えています。

- 「万葉ゆかりのまち」として、本市の魅力をアピールしていくことは、非常に良い提案であると思います。

私も万葉のイベントに参加する機会がありますので、参考となる事例の研究を進めるなど、皆さんのお力もお借りしながら、まちの魅力をさらに高めるような取組も検討してまいりたいと思います。